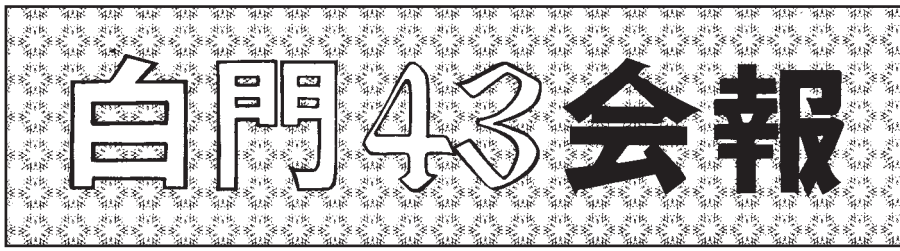


ホームページご案内

白門43会ホームページを御覧ください

「白門43会」で検索できます

詳細は第3面に掲載



発行所 中央大学学員会白門43会

編集・発行人 清水 正
電話 090-3699-9580
メール tds_shimizu@yahoo.co.jp

会える喜び今ここに
3年ぶりの総会を開く

白門43会の第28回定時総会が3年ぶりに開かれ、総会・講演会・懇親会が行われ65人の会員が参加...

この間にも役員は最低限回数のお合を開き、実績のとりまとめ、計画立案、発信文書の作成など...

9つの円卓に着席した会員により伊藤正敏副会長の進行により懇親会がスタート...



3年ぶりの総会に勢ぞろいした白門43会のメンバー

続いて長田康道監査(税理士・公認会計士)による講演「相続について」が行われた。



懇親会に花をそえた八重津オッターバの皆さん

当初の計画では各テーブルに空席を設け、サウンドをしてくれる者が着席できるようにしていたのだが...

重洲オッターバによる演奏、古賀忠夫幹事をメンバーとするみなさんもマスクをつけての演奏はさぞ大変だったと思われる。

高年齢化や新しい年会費制度の実施などの影響によって会員の数が大幅に減ったのですが総会の出席者状況やその盛り上がり...

2023年(令和5年)の新春の集いが2月24日(金)、東京・東天紅上野店で開かれます。

今年こそ「新春の集い」

本舞踊家・藤間浩菊さんのおどりを鑑賞いたします。藤間さんは中央大学出身、祖母堂はSKD、母堂は日活女優という芸能家系でそだち、日本舞踊、茶道をきわめておられます。

岡田孝子さん学員会副会長に就任

会員の岡田孝子さんが母校中央大学学員会の副会長に就任されました。5月21日に開かれた定時協議員会・定時学員総会において久野学員会長の推薦により選任され25人の副会長のひとりとして3年間の任期を務めることになりました。

ご挨拶

白門43会会長 清水 正



白門43会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。「令和」の年号も5年目となり私たちの日常生活に慣れ親しんでまいりました。

の散策会を開き柴又の町を楽しみました。なかなか会うことが難しい昨今、ホームページの役割が段と高くあがってまいりました。

ふたたびの駿河台

43年ぶりにキャンパスが復活



駿河台新キャンパスの威容

神田駿河台に建設中であった中央大学駿河台キャンパスが2023年（平成5年）4月に完成する。私たちが学び、卒業12年後に八王子へ移転のため閉校となった駿河台キャンパスが43年ぶりに復活することになる。駿河台の地は今明治大学、日本大学などが広い敷地と高層の学舎を築き、あわせて有数な民間企業が数多く軒をつらねる様子となっている。高さ20階建てとなる新キャンパスはもともと中央大学では最も高い建物であり、東西北の3方には日本大学が接し、学問の聖地駿河台に再び脚光を浴びようとしている。

この建物にロースクールなどの学校施設が入居、あわせて私たち卒業生の集

い「委員会」が入り、これからの日常の活動の場となる。約3年間で神田神保町にも近いツ橋で活動を続けていた私たち「白門43会」も晴れて神田駿河台が活動の拠点となるのだ。

多摩と都心で2大キャンパス形成
今回、文京区大塚に「茗荷谷キャンパス」が発足する。多摩地区から法学部がそっくりと移転、新たな法学教育が実現することになる。この地は東京地下鉄丸の内線「茗荷谷駅（M23）」には隣接、同じく「御茶ノ水駅（M20）」にほど近いロースクールとは本線で結ばれることになる。その中間には理工学部を中心とする「後楽園キャンパス」があり、共同

駿河台のあゆみ

西暦	和暦	内容
1885	明治 18	神田錦町に英吉利法律学校が創立
1926	大正 15	中央大学が神田駿河台に移転
1968	昭和 43	私たちが卒業
1980	昭和 55	駿河台校舎が閉校
1995	平成 7	白門43会が設立
2018	平成 30	卒業50年を祝う
2023	令和 5	駿河台新キャンパスが開校

中央大学の今

中大在学生の数 2022年5月現在

学部	男子	%	女子	%	計
法	3,262	57	2,478	43	5,740
経済	3,141	70	1,362	30	4,503
商	2,823	65	1,504	35	4,327
理工	3,288	79	860	21	4,148
文	1,947	46	2,304	54	4,251
他3学部	1,556	52	1,447	48	3,003
計	16,017	62	9,955	38	25,972

※他3学部とは新設された総合政策学部、国際経営学部、国際情報学部の3学部の合計

卒業生の数	599,065 人 (2021年度まで)
専任教職員の数	教員 725人 職員 412人
年間収支	718 億円 (2021年度)



新しい御茶ノ水駅聖橋口

に仕える駿府詰めの家臣が江戸へ帰る屋敷地として割り当てられ、国の名である「駿河」が土地の名前としてつけられた。以前は山地であり、神田山あるいは神田台と称した。その山の土砂は江戸市街拡張の埋め立て用として崩されたという。近代以降は明治大学、日本大学もこの地を利用、大学医学部も立地され病院の施設も完備され駿河台の地名は大学のシンボルともなり、明大の校歌にもよまれ、その後新設された大学の校名にもなっている。

「そうですね、先輩」
「そうだ。「先輩」で十分だ。よしこの関係を大事にして、これからはいつでも彼を誘って誼を通じて行けばケンジにも対抗できる勢力ができる。サブローは自分の棲みかに戻ってからもこの日の成功に酔いしれていた。今までケンジの見えない圧力に苛まれていたのから解放されて、久々の安穏な時間を過ごすことができた。

「あ、どうしよう。「ヒトの口は閉ざされてはダメ」という諺もあるではないか。とんだ失敗をしてしまった。しかし「後悔先に立たず」である。そうだが今のうちにトシヲを探し出してオレの力を見せつけておいてやらなくては。もし約束を破ったらどうなるかを思い知らせておいてやる必要がある。いまのオレと彼の力関係ならそれができるともいられず、すぐに自分の棲みかを飛び出した。目指すは例の通用口である。早く行かなければ……。気が焦ると自分の歩みが遅いのが歯がゆい。

「さ、どうしよう。このまま黙って引き下がるか。それとも堂々と彼らの前に出て、奴らと渡り合うか。どう見てもそれは無理だ。ケンジだけでも対抗できないのに、更にトシヲが向こうについている。いやケンジは先にトシヲを唆けてサブローと戦わせるかもしれない。トシヲだけなら倒せるだろうが、イザというときは後ろ盾になつてくるケンジが加勢するのだから勝ち目はない。でもこのまま引き下がるのは何としても腹の虫が治まらない。不戦敗なんて不名誉だけは避けたい。オレにだって主張がある。

「ところが夜が明けて日の光を見た途端、サブローは新たな心配ごとにも襲われた。トシヲは本当にあの約束を守るだろうかという疑問だった。昨日はあんなことを言って従順な素振りを見せていたが、それはあの粉チーズの在り処を知るための方便ではないか。一たび知ってしまえば彼が単独行動をとったとしてもサブローには止める手立てがない。いやそれだけではない。ケンジに教えてしまう可能性だってある。

「何といつても蝸牛の足は腹足なのである。ようやくのこと例の通用口が見えるところまでやつてきた。だが、サブローがそこで目にしたものは……。」

「ま、黙って引き下がるか。それとも堂々と彼らの前に出て、奴らと渡り合うか。どう見てもそれは無理だ。ケンジだけでも対抗できないのに、更にトシヲが向こうについている。いやケンジは先にトシヲを唆けてサブローと戦わせるかもしれない。トシヲだけなら倒せるだろうが、イザというときは後ろ盾になつてくるケンジが加勢するのだから勝ち目はない。でもこのまま引き下がるのは何としても腹の虫が治まらない。不戦敗なんて不名誉だけは避けたい。オレにだって主張がある。」

通用口 (第四回・最終回) 会員・沢口みつを

白門43会ホームページ 最近のトピックス

- 9月12日 最近読んだ本「五重塔」 三沢 充男
- 9月20日 四季の植物「クズ」 龍門 海行
- 9月26日 歳時記「赤とんぼ」 三沢 充男
- 10月 3日 随想91「黒田官兵衛」 歌代 雄七
- 10月11日 てつ旅第3回「川越から国分寺へ」 清水 正
役員会報告書
- 10月18日 ギャラリー Gallery-2 5点 町田譽曾彦
- 10月24日 四季の植物「ナナカマド」 龍門 海行
- 11月 1日 随想92「バーレーン」 歌代 雄七

白門43会のホームページが大好評です。今回は創設以来アクセス数(今までに利用された延べ回数)が6万回を数え、ひとつのエポックとなりました。ホームページには白門43会の概要(組織、役員、規約、会報のバックナンバー)などを掲載、そして動きとして会の活動の様子、予定のお知らせなどを網羅、役立たせていただいています。そして会員の動きとして多数の投稿記事があり、多くに好評をいただいているものです。

昨年ホームページの画面の大改訂が行われ、明るく見やすいものになりました。とくにスマートフォンでも見やすいものに画面を大幅に変更したため実に見やすくなりました。スマホを縦横にせわしく動かす必要もなく画面いっぱい大きな文字で表示されています。憩い、歳時記、四季の植物などはそれぞれが季節に応じて題材をとりこんだ大変に興味深い読み物となっています。「リンク」の機能を使えば、学会会のオンラインや学員時報のバックナンバーそして近隣年次支部42年白門会、白門44会の様子なども手にとるようにわかります。



最近の活動 第45回ゴルフコンペ

43会ホームページが大好評 アクセス数六万を達成

ホームページの開きかた。パソコン、スマホで可能。「文字で検索」「グループ」などで「白門43会ホームページ」↓「学員ウェブ」



QRコードで読み取り

令和3年度 白門43会 収支決算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(収入の部)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	1,420,085	1,420,085	0	
会費収入	330,000	381,000	51,000	(注) 1
総会懇親会収入	0	0	0	中止(新型コロナウイルスの感染拡大)
「新春の集い」収入	630,000	0	-630,000	同上
旅行参加費	0	0	0	
その他の収入	100,000	101,009	1,009	(注) 2
合計	2,480,085	1,902,094	-577,991	

(支出の部)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
総会費	52,000	67,188	15,188	印刷費、郵送費等の案内状関係費
「新春の集い」費	604,000	29,409	-574,591	印刷費、郵送費(会報発送を含む)等の案内状関係費
旅行費	0	0	0	
会報発行費	120,000	126,439	6,439	印刷費116千円、発送費10千円
ホームページ費	38,000	151,488	113,488	レスポンスデザイン化110千円、維持管理費41千円
名簿作成費	100,000	0	-100,000	
その他の支出	60,000	55,733	-4,267	(注) 3
次年度繰越金	1,506,085	1,471,837	-34,248	(注) 4
合計	2,480,085	1,902,094	-577,991	

(注) 1. 会費収入 381,000円の内訳
令和3年度分88人、288千円及び4年度以降前受分23人、93千円
2. その他の収入101,009円の内訳
支部活動支援補助金 100,000円、寄付金ほか 1,009円
3. その他の支出 55,733円の内訳
年次支部協議会会費 15,000円、役員会会議場キャンセル料 14,370円、会食費 12,000円(「ノラ・コミュニケーションズ」スタッフとの友好促進)、対死亡役員弔電料 5,610円及び事務用消耗品ほか 8,753円
4. 次年度繰越金 1,471,837円の内訳
ゆうちょ銀行の振替受払(払込金受払口座) 103,641円、定期貯金 300,000円及び普通貯金 467,275円
並びにみずほ銀行の普通預金 600,921円
ちなみに平成7年(初年)度末の「次年度繰越金」は、5,569,994円である。(「白門43会会報」第2号)
<参考> 会員の状況→現会員 173人、自己都合退会会員 47人、会則準拠退会会員120人、死亡退会会員6人(令和4年3月31日現在)

令和4年度 白門43会 収支予算(案) (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(収入の部)

科目	予算額	摘要
前年度繰越金	1,471,837	
会費収入	390,000	3千円/人×130人(前年度実績並み)
総会懇親会収入	740,000	参加費700千円(10千円/人×70人)、祝い金40千円
「新春の集い」収入	630,000	参加費630千円(9千円/人×70人)
旅行参加費	0	コロナ禍により開催未定
その他の収入	100,000	支部活動支援補助金(前年度実績並み)
合計	3,331,837	

(支出の部)

科目	予算額	摘要
総会費	714,000	飲食費548千円、案内状関係費54千円及び会場使用料・講師謝礼等112千円
「新春の集い」費	628,000	飲食費518千円、出演謝礼50千円及び案内状関係費ほか60千円
旅行費	0	コロナ禍により開催未定
会報発行費	150,000	会報第30号120千円、特別取材企画費30千円
ホームページ費	78,000	メンテナンス料45千円、勉強会講演料33千円
名簿作成費	65,000	終身会員制度廃止に伴う会員大幅減少に伴い、名簿作成の必要性あり
その他の支出	60,000	前年度実績並み
予備費	1,636,837	
合計	3,331,837	

活動報告

<白門43会の動き>

- 2022年
- 1月22日(土) オペラ鑑賞会 豊洲シビックセンター (セビリアの理髪師)
 - 2月 3日(木) 役員会(中止)
 - 4月 8日(金) 役員会・スマホ勉強会 学員会会議室・椿山荘
 - 5月14日(土) 年次支部協議会(オンライン)
 - 17日(水) 第45回ゴルフコンペ カメリアヒルズC.C.
 - 21日(土) 学員会総会 多摩キャンパス
 - 25日(水) 会員名簿を発行
 - 6月 1日(水) 役員会 学員会会議室・椿山荘
 - 7月 8日(金) 第28回総会・講演会・懇親会 上野精養軒
 - 8月 3日(水) 役員会 学員会会議室・泰南飯店
 - 10月 5日(水) 役員会 学員会会議室・泰南飯店
 - 10月25日(火) 第46回ゴルフコンペ カメリアヒルズC.C.
 - 11月 1日(火) 散策の会 葛飾・柴又帝釈天近辺
 - 11月27日(日) 第31回ホームカミングデー オンラインで参加
 - 12月 7日(水) 役員会・忘年会 学員会会議室・泰南飯店
 - 予定
2月24日(金) 新春の集い 東天紅上野店

寅さんのふるさとへ 柴又めぐりの懇親会

11月も暖かい初日(火)、会員の有志は葛飾・柴又の散策を楽しんだ。映画の連作「男はつらいよ」であまりにも名高くなったこの寺町・柴又はだれもが親しみをもてる町ということになった。

まずは映画の第二の舞台でもあるお寺・日蓮宗経栄山題経寺へ。「御前様」の帝釈天は創建が1629年、なんと寛永6年。東照宮の陽明門を模したのもいわれ、柴又の象徴でもある二天門をくぐり帝釈堂でおまいり。この寺の最大の誇りである「彫刻ギャラリー」を見る。法華経の説話をモチーフにしたきめ細かく、力強い彫刻は見る人の目を奪うほど。

次に廻った遠溪園は都の指定名勝になっている素晴らしい庭園。活気ある柴又の町になんとも静寂感が印象に残る。

懇親会の楽しみはランチの宴。今日は柴又の老舗である1778年(安永7年)創業の川千家へ。メインの名物・うなぎはもちろん刺身、てんぷらはじめ数多くの味で舌をうるおし



帝釈天二天門の前で

た。今は10代目となる天宮久嘉氏が腕をふるうという。一味いたいたあとは、誰がとも言うことなく参加者が近況報告をはじめた。遠く神奈川からの参加者、近くは地元葛飾区からの参加者、入り混じって土地の話、大学時代の話、仕事の話など。そのうちに各自の体調報告になり、手術をした、食べられなくなったなど年齢を感じさせる話題で盛り上がり、会場は笑いと感嘆の声にうずまいた。

山本亭は海外の皆様にも大変評価の高い日本庭園をもつ。

寅さん記念館を見物。寅さんの映画でこの町は賑わったといっても過言ではない。もともとはテレビで始まった「フーテンの寅」は1969年(昭和44年)に映画化、以来2019年(令和元年)の第50作が公開されるまで日本人の心を温めてくれた作品であった。

町田さん衆議院議長賞を受賞 「ストラスブル」が新院展で

会員の洋画家・町田曾彦さんが新日本美術院主催の第54回「新院展」においてフランスの街並みを描いた「ストラスブル(仏)」80号が衆議院議長賞を受賞、9月に東京都美術館で開催された展示会に披露された。

町田さんは1970年二科展に初入賞、以後49回の入選、第90回記念二科展で特選受賞、三越でも個展を11回開催するなど様々な展示会に出展されてきた。2003年には内閣府より「紺綬褒章」を受賞されている。その後、2017年にはフランス芸術家協会「ル・サロン」の永久会員に推挙された。直近では、2020年、アイトワールドインターナショナルから「世界文化功労芸術家大賞」(画題「ストラスブル(仏)」F100号)を受賞している。2021年には、日仏芸術文化教育実行委員会から、令和ジャポニズム最高位芸術大賞を受賞。さらに、アートジャーナル社から「日本芸術大賞」を受賞している。

このほど町田さんは新日本美術院の会長に就任された。新日本美術院は1968年に創立された美術団体で、国内の公募展「新院展」「マスターズ大東京展」を主催するほか国際的な活動も行っている。

ストラスブルの案内
ストラスブルは、フランス東部でドイツと国境を接するアルザス地域圏で、ライン川に近く、支流イル川に臨み北方に運河が流れて



ストラスブル(仏、塔と橋) F80

(町田曾彦)

お詫び
会員名簿の訂正
22年に発行された白門43会会員名簿に誤植がありましたのでお詫びして訂正いたします。第2ページ、白井久仁郎さんの電話番号「090-1736-0620」は誤植であり正しくは「090-1735-10620」です。申し訳ありませんでした。

編集後記
コロナ禍に惑わされるこのごろです。ひさびさの総会が開かれ多数の会員が懐かしいお顔をみせてくださいました。偶数月に開かれる役員会も再開されようやくコロナから脱出できそうです。

うな気配を感じましたがまだまだ油断ができない状況です。どうぞ健康にはご注意ください。お過ごしください。

会員数は減少しましたが、ホームページとあわせて白門43会の情報発信を続けてまいります。



受賞作品の前に町田さん

- 会員訃報**
次の会員が亡くなりました。ご生前の厚誼を感謝し、ご冥福をお祈りいたします。
- 高橋延芳さん
商学部会計学科出身
東京都墨田区在住
2022年3月10日逝去
 - 目崎康雄さん
理工学部電気工学科出身
東京都文京区在住
2022年3月31日逝去
 - 遠藤きみさん
法学部法律学科出身
東京都中央区在住
2022年6月2日逝去
 - 坂東 勲さん
文学部国文学専攻
富山県砺波市在住
2022年8月18日逝去
 - 高橋 努さん
経済学部産業経済学科出身
兵庫県三田市在住
2022年9月8日逝去
 - 蓮沼良直さん
法学部法律学科出身
東京都八王子市在住
2022年11月14日逝去